

法遍寺 から大切な 皆様へ

2019年11月1日

日蓮正宗 年間方針

勇躍前進の年

法遍寺・天晴寺支部活動方針

人材育成

勇猛果敢の折伏

年間実践テーマ

① 勤行・唱題で折伏推進

誓願達成

罪障消滅

② 講中一結で御講参詣

異体同心の團結

折伏成就

③ 登山参詣で育成推進

心身浄化

功德无量

〒488-0881

愛知県尾張旭市城山町三ツ池6075-1

(TEL:0561-54-9226)

相談無料



2019年10月5日、6日の宗祖日蓮大聖人御会式の様子



慧光山 法遍寺(えこうざん ほうへんじ)について 住職 近藤道正

法遍寺は静岡県富士宮市にある「多宝富士大日蓮華山大石寺」を総本山とする日蓮正宗の寺院です。日蓮大聖人様の正しき信仰を人々に弘め、ここ愛知地域の全ての人々が真の幸せをつかむ為に、総本山第67世日顕上人が開基となって、昭和57年6月18日法遍院として設立され、平成20年12月23日には改築され、法遍寺となりました。日蓮大聖人の出世の本懐である三大秘法の大御本尊に帰依(きえ)し、破邪顕正の布教活動をさせていただいております。

① 講中のみなさまへ

およそ、自分が間違っていると分かっている、他人から注意や指摘を受けると不愉快になるのではないのでしょうか。また指摘された事柄が正しく、それを理性では承知できても、感情の面では「そんなことを言うあなただっとうじゃないの」と思ったりします。また、逆恨みして相手を怨嫉することも少なくありません。どうも人の心には、自分の意に染まらないものを拒否したり否定したりする心が沸き起こってくるようです。大聖人は仰せです。「人を良くするものは味方よりも強敵が人を良く大成させる」(1063頁 種々御振舞御書 趣意)と。大聖人の如く、大難そのものを最高の善知識とし、「これぞ法悦」とのご境界には仮に至らなくとも、私たちは御本尊の利益によって心を洗い、逆境の瞬間こそ己の成長の時と心得ていくことが大切なのです。

② 創価学会に籍を置くみなさまへ

創価学会が平成5年10月より作成し配布し始めた本尊は、栃木県・浄圓寺に所蔵されている日寛上人御書写の御本尊をコピーし、さらに御本尊に認められていた「本證坊日證授与(ほんしょうぼうにつしょうじゅよ)」という授与書きを抹消して作り上げたものです。日蓮正宗では、この創価学会作成の本尊を「ニセ本尊」といっています。この行為は、大聖人と唯授一人の血脈相伝(けちみやくそうでん)の仏法をないがしろにする大謗法です。本尊の姿や形は日寛上人の御真筆とそっくりであっても、御本仏の魂が込められていないのです。しかも、正法に敵対する者の手によって作られたものですから、魔の力がこもっており、これを拝むと大謗法の罪によって厳罰を受けるのです。一日も早く創価学会を脱会し、日蓮正宗に帰命し、幸福な人生を手に入れてください。

③ 日蓮正宗を知らない方へー狐つき、蛇つきなどの「つきもの」をどう考えるべきか

狐つきなどの「つきもの」を考えます。仏法では全ての生命の本質を十界論でとらえており、狐や蛇などのつきものは、まさに人間の生命の上に現れた畜生界の姿とみえます。先祖に稲荷などの畜類を本尊とする信仰をもった家系にあることで、畜生界の生命と、私たちの生命にある畜生界が感応して現れた姿が「つきもの」です。正しい仏の教えに従ってその信仰を貫けば、仏界と衆生の九界が感応道交し、衆生の仏性が開発されて成仏の道が開かれます。つきものに限らず、人間同士でも言えることで、人の心身に刻まれた邪な信仰の汚れを落とすことが幸福の要件です。過去の罪障を消滅し、狐つきなどの苦しみから脱却する道は、正しい御本尊を信じ、南無妙法蓮華経と唱える以外にありません。仏の正しい教えを求め法遍寺においでください。